

■ 研究課題名

10 下痢原性細菌におけるサーベイランス手法及び病原性評価法の開発に向けた研究

■ 研究の概要

HUS を発症した患者から分離された腸管出血性大腸菌について、血清型別および重症化因子として挙げられている病原遺伝子の保有状況を調査する。また、市販血清で判別ができないカンピロバクターについて遺伝子学的手法を用いた解析等を実施する。

■ 研究期間

平成 30 年度から令和 2 年度まで

■ 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 大井 洋

■ 研究責任者の氏名

微生物部食品微生物研究科

尾畑 浩魅

■ オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。